

朝、米飯、大根の塩辛い味噌汁
風、セルパツク弁当

米飯、塩コブ、カマボコ二切、タウワン
二切

夕、米飯、ネギのスマシ汁、生タマゴ一ヶ
労働の出来る食事ではなかった。だから、
その日、その日の前借金で近くの市場でカロ
リーを補う他なかった。

ちなみに満期日の手取金、三〇〇〇円程だ
ったのを覚えていいる。(宮崎県人四〇才)

宮崎県人さんは現在、病気で養育中とのこと。
冒頭に戻って、身体髪膚、これを父母に奉
ぐ。おえて毀傷せざるは老の始めなり。

孝のことは置くとしても、誰しもメシでこ
め上げられるのだけは願ひ下げだろう。

小林有礼氏の飯場体験

土方、此のうエタル人生。しかし、毎日の
孤立を日々覚えていようか？ ケタオチから
上まで、その場限りで細かく覚えてないのか

米かいぜ。此んな事はいいー。

阪神伊丹、福島女子高近く西川組、二階ベ
ッドと個室。シャリヤ味噌汁は西決一だつて
ね。現民が要いが、うどんでも何でも一流か
も？ 更くはない。

大和田町三の吉川のオバはんどこぞその他
大和田グループは統じて要し。吉川は二、三
通期したが、六人飯場へホントは十人へ飯
炊き一人で腹ペコめく喰わす。魚一匹とかマ
カロニの店屋敷。

広川工業(尼、築地)、此処は食堂は狭い
がエサはいいよ。10人位しかいないが身内と
石屋の手元が多い。

秋本組、茨木市の郊外、此の飯場もオヤジ
が神経性のアレなので困る。食事は佳々気を
使っている様だが。

森建設(尼、南初島)、元女将屋敷。梅ボ
シ、朝鮮味噌(甘口)、海苔、昆布、時には
鯛、鰯節やちりめんジャコや佃煮など。食卓
はどこも同じ、初島独特で豊富。しかし、一

普通、どだいアンケー
トを無視さ、そ
れよかナマで歩
いた体験がバリ
飯場歩き紹介
を内容とか全
面に……

此れはリア
ルだ。とにか
く協力。

取りあえず、
うちには長浜市西
上坂、佐藤組(地

元植田組下請け)、阪神間、原市は分、大阪
セメント伊吹工場内の営繕仕事、雨間係なり、
15日契約、飯場一アレハフ新運う、初人入り、
朝めしートウフヤワカメその他、終々、屋

飯并当は二、三、オカズ入りで普通。夜は二
皿で酒、ビールのアテにはなる。メシは近江

一体、本体の米は悪くない。時にはホルモン
ちぎる残りで必ずうどん、蕎麦へ今なにかツ
オらーが多い。チミツ算并当に入る。
初島は田中産工が極端に悪いとかで、他は
どこも献立や量付け似てる。住めばわかる。

松本組(徒走)、此処は并当はオカズ入
なくで天アラヤキのからめものばかり。こ
かも、食事時一回一回、名をチニツクするに
はオロロキだ。更炊事(シロウトンでテンヤ
物一品のみ、酒のアテにすりや飯がくえぬツ
ーヤつた。

大正区三軒屋西一丁目源美建設(本家)ー
泣く子も泣く源美さんは大世帯、朝飯アンコ
(現金)に喰わすので味噌汁にあらずオスマ
シ……。マズイなく、あんもすぐ売切れ。夜
はオソマツ、遅く遅くはタナの上にオカズな
し、やりっぱなし、事務所丈三振。

中山建設さん(本家)の夜食の方が一寸は
マシか。皆んな低り金で補充している。
図并当はビニールで栄養失調完全食、キン



ビラゴボウにウズラ豆パラパラ。そんなのば
か。大正でいいのは川上建設だけだとさ。
一度あれらに他のシヤリのいいとこのやつを
喰らわせた。

興亜土木へ北神戸一、大世帯でフトン筆事
門。汁ーパイ、列作、て並でさ、オカズはフ
ライで揚げだ。魚一匹とかトラフー一丁とか、
とにかく腰ペコ、下のスーパで何とかこな
くちやオエンバイ。

以上書いたが詳しく書けず残念、通知簿式
にするが、O×式かO×式にするか評価
しやういが、一マ弁当となると思い出せない。

前略、大の男がめくだめくだとわめいてい
ても、遊んでて喰へぬのは最下層の我らの昨
今、とにかく思いつく如列記するので、費用
のみそちらで拾って下さる度。

岸和田市先き、吉見の里駅前の高久組、オ
カズは魚ばかり、兄弟うちが泉南沖の部屋

間契物はトーフー一丁二、有り。夜食、ゆかる

カシーライス肉なご一丁、シヤリ煮、大
正の中山ならぬ新規募集の玉村組ーコロツケ
へセンモン二つとか、天ぷら二つ、ミン汁
はオカが見事に映る。キタナイ設備。

出張は省く由、さう。

和歌山、橋本市よりバス二、目、桜の本場
井上建設、土地の業者。

行ったのが桜の時期、センター橋水のネキ
より。しん温入れ、排水湯、小学校洋化道
他三ヶ所にある。

飯塚八重、山菜料理その他、酒はへんや。

あてがい、魚、牛肉その他。料理屋上りの？
はんの料理。家族め。弁当は家より午前十一
時に配達に来る。みそ汁は主に貝汁（シジミ）
とトウツで、みそは自家製。

とにかく家族、世話役と一家団らん朝夕
食。栗の事ゆえ祿立は一才、とにかくバラエ

シ、居方山廻りといや
の、ほな、山廻りといや
法師。
ヒルの
オカズは
六人分一膳
くたで、輪になつて喰う。鉄筋仕事ばかり、
せ二安く仕事キツイ。



厄、南初興林建設、安田へ有本近くの方へ、
東原、新井興業、以上体験したか同い具合。
姫島六丁目仁川土木ー部屋六人、部屋の中
でシヤリ喰う、テンヤもんばかり。年中人夫
とトラフル絶えず。オヤジ、アル中進行中、
オカ、日本字文盲、だから当然石屋の手元
専門。

古市へカワチーの共栄土木ー給食弁当、朝
屋崎専門、いつも腰ペコ、銭借りて腰満たす
池田市北古住中組ー屋めし魚専門、一週

ティーに客んで新築、地方旅館なみと云おう

昭和建設興業（園田）ー元を正せば殺人飯
場、山光組（尼、中野）の別れ、神戸塩谷の
飯場はパーで比喩に新築した（金が有る）。
中野にもめる。くかく中味は一膳、お粗末な
ものだ。屋弁当、めくずは多い。チワワの煮
たのとかコンニャクとか。園田はつまじめ、
三人部屋アレハ。

五月興業（池田市木部）ーオヤジがヤクで

パー。姐やんが二〇人の幼通している。刺にエサ
はいい。食堂や狭く。新屋も一寸古い。

新聞と大阪駅前人夫のギダコ、尼は戸の
内へ元神崎新地ーの武尾組兼一前にいた露国
団が何かの中村某、ピンハネ屋はやめたが、
シヤリは旧態依然。並んでウスメツ汁をーパ
イもらい、シヤリも盛り切り。廊下で喰う。

魚半匹とか。諸式ばかり取らせるやり方。

堺市上聖芝大西組ー和泉、砂川にもある。
アレハア古く。土木専門二〇人位。ペテラン
の飯炊きいるも予算が有り、あまりよくない。

借り金で町へ出て補充する口。

尼ヶ崎市集地中山建設―大正とは関係なく、時々利身とかするが、カレーだ、味噌汁だとか姐の命令の炊事は大味でまずい。比類はうるサイへ休むと、雇当は充分ある。仕事かえてきてキツイへ土木、カン入れ。

阿部組―滋賀県甲賀郡田西町グイハツ義賢現職建築大林。土工六人、通い二人、大工やらや取やら。食事は同じ、此処も通り一辺のテンヤもの。雇食は食べに帰る、五分位のんきなのがトリエーか。

仲々、食の事は大事なくせに思い出せないが、何処がいい悪いは、そこは詳しくいよ、流石!!

井天町の井天様は一寸よくなつた。光山組は最底、トーフ半丁で終わり。京都、明輝、進歩してない。大西組本家へ現上えまーは、めし炊きが上手だが中味は悪し、結局米量不足らしい。長い人間が云うから間違いない。

千のメン、井当の勢々を苦々しく思い出していろのてはなかうか。

アンケートリ最後の一枚。

① ニューコンパのドヤの向いで売ってた八百屋三八。円の井当がおいしかった。

② 伊丹や名古屋の朝鮮人の飯場の方がお茶が多かった。味付けは、飯場の場合は新まり変らない。

③ 手配師が、メシがおいしくいっていただけ、ラッ、京都の方の飯場が良い米を使っている。

④ 手配師の店田は即紙を飛用(毛羅)としてい。又、敬造(東宝土木)は車検なしのライトバンで運んで、ケがなされた。店田は松組と向日町の成畑組との建設の手配をしてい。

⑤ 飯場では相変わらず、両物のすり変え、トンコが多い。私は全部並まれて、服がなく、手帳もなく困っている。

⑥ センターに来て突然を見て下さい。

(吉田政男四六オ)

神戸魚崎、麻組、常神の下請け。

人数少ない。堅苦しい様を通りー

迎、諸式などな

し。冷飯ほ

かす。出張

海外行き有

り、防波堤

造り専問。

又キ六千五

百円以上、

エライ。

森さんからはハガキ六枚使って報告を頂い

た。カットも入れて。そのたくさん報告を

読んでも判ること、まともなメシを喰わせ

るところは少なく、前借りして外食をなけれ

ばもたないところが多いということ。これは

みんなも体験して知ることだろうが、こう

ズラリ並べられると、改めてアキレ、ケタオ

⑫



はこれではたえずカロリー不足で、病気に
かりやすくなる。とへ認るべき労働者二巻一
巻の労働一三一巻、一九六一年一〇月一

十七年、ざっと二〇年前に出版された本か
らの引用だが、数字と、ノミ、シラミの数を
除けば、現在の説明とくても通用する。

さて、サン、セバステイアン君、その出巻
だ。食い物のウラミは、本当に恐ろしいとい
うことを……。十年、二十年と積もり積も
った食い物の恨み……。

満開座才三回金ヶ崎興行報告

報告、と書いたものの、困ったことに私は
よく見ていなかったのです。なんせ六時前か
ら役者衆が市民館の前で呼び込みをし、客の
入ること入ること、開演前には超満開？、と
びら聞まらない程。で、中に入れきれなかっ

た私はみんなが笑いとよめくたびに、なんや
な人々と替のびくたり前の人達の顔と顔のス
キマを探してうろろ。途中では、ワシナル
中で子供が今一睡におるんやけどどうしたら
ええやろか、と持ちかけられたり……。

ともかく、ドヤ仲間の竜やんが死んで、少
佐やら横やんやら銀公やら朝子はんやらが、
旅の母国に近い海に骨を流してやろう、と一
大衆恨く、ハ尾の自衛隊基地から飛行機をい
んど、て首尾を造する。

造ると言え、明日は飛行機で飛び立つ
という前の晩、おカマの銀公は朝子さんを相
手に連れております。まこと性急とは文化的
所産で、情況、精神性によって立つ。ちなみ
に、この晩は二対三で、男三人は決死の前の
ボロボロとあいたりました。

わくも入れてくれ、それ、もう一丁いけ、
とかの声が飛ぶ。おどろかすかな。

満開座は夢覚りに来る。を、御期待!!